

SSCV

Smart & Safety Connected Vehicle



東関交通株式会社

プレスリリース

2023年1月11日 10時

事故リスクを、独自のアルゴリズムで予測！ドライバーの「疲労」と「ストレス」を“見える化”するソリューションを、千葉県老舗バス事業者・東関交通が導入

運輸・交通

近年、ドライバーの健康状態に起因する「漫然運転」による事故が増加しています。しかし、ドライバー任せの運行改善では限界があることから、「SSCV- Safety」の活用を決定。点呼前のバイタル測定と定量的なデータに基づき、当日のドライバーの体調や疲労状態を正確に把握することで、体調起因事故や漫然運転の撲滅を徹底的に追求します。

千葉県成田市を中心に、貸切バス事業・旅行事業・タクシー事業・ハイヤー事業などを展開する東関交通株式会社（本社：千葉県成田市、代表取締役：浅川範仁）は、2023年2月1日（水）、安全運行のさらなる強化のため、株式会社日立物流（本社：東京都中央区、

代表執行役員長・高木宏明) が提供する、ドライバーの健康状態から事故リスクを事前に予測する安全運行管理ソリューション「SSCV-Safety」を導入いたします。

▼ 「SSCV-Safety」について（日立物流公式サイト）：

<https://www.hitachi-transportssystem.com/jp/sscv/safety/>

■ドライバーの健康状態に起因する「漫然運転」による事故が増加傾向に

近年、日本では交通事故発生件数、交通事故死者数ともに減少傾向にあります。しかし一方で、目立つようになってきたのがドライバーの健康状態を原因とする事故。特に死亡事故においてその傾向が顕著であり、事業用貨物自動車の交通事故の場合はドライバーの健康状態に起因する「漫然運転」が大きな要因となっています*。

そこで、大型の貸切バスなど事業用旅客自動車の運行事業を手がける東関交通も、漫然運転の撲滅に向け対策を強化。ドライバー任せの運行改善に頼るのではなく、独自の事故予測アルゴリズムを用いて事故を未然に防ぐ安全運行管理ソリューション「SSCV-Safety」の活用を決定しました。

*出典：交通事故総合分析センター（ITARDA）（令和元年度）

■点呼前のバイタル測定と定量的なデータに基づき、当日のドライバーの体調や疲労状態を正確に把握、事故リスクを事前に予測

「SSCV-Safety」は、日立物流が長年にわたり事故と向き合い安全を追求してきた結果、生み出したソリューション。「予測する」、「見守る」、「振り返る」の3つのカテゴリーで構成されています。東関交通が導入することとしたカテゴリーは「予測する」。運行前に疲労レベルを測定することにより、ドライバーの体調や疲労状態を正確に把握し、当日の運行の事故リスクを事前に予測できるのが特徴です。

具体的には、点呼前に体温・血中酸素濃度・血圧・自律神経などのバイタル測定を実施します。ダッシュボードに反映された定量的なデータをもとに、当日の健康状態を、PC・スマホ・タブレットなどで迅速に判定。「漫然運転」につながる、ドライバー自身でも気

つかない「疲労」や「ストレス」の見える化が可能となります。トワイハーは運行前に自分の疲労レベル及び事故リスクを把握することで、防衛・予測運転のレベル向上が図れます。

東関東交通では、何よりも輸送の安全を重視し、脳ドック、SAS（睡眠時無呼吸症候群）検診、最新の安全装置を備えた新型車両導入などにいち早く取り組んでいます。今後も対策を不断に見直し、利用者にとってもドライバーにとっても安心できる運行事業を続けられるよう全力で努めてまいります。

【東関東交通株式会社について】

本社：〒287-0225 千葉県成田市吉岡1049-26

代表者：代表取締役 浅川範仁

設立：1985年12月

電話番号：0476-73-6630

URL：<https://tokan-kotsu.com>

ガーリーツアー：<https://girly-tour.com>

婚活バスツアー「TKKトラベル」：<https://www.tkk-travel.com>

ペットバスツアー：<https://girly-tour.com/dogtour>

事業内容：

- ・貸切バス事業
- ・旅行事業
- ・タクシー事業
- ・ハイヤー事業
- ・中古バス販売・買取事業
- ・太陽光発電事業

【一般の方向けのお問い合わせ先】

企業名：東関東交通株式会社

担当者名：浅川